

財団法人 全日本ろうあ連盟 創立60周年記念映画

人情あふれる東京の下町を舞台に、
“もうひとつの美しい言葉・手話”で織り成す、
幾つもの世代をつなぐハートフル・ストーリー

ゆずり葉

ろう者と健聴者の
ヒューマン・コラボレーション!

—君もまた次のきみへ—

題字:後藤勝美

あらすじ

ベテラン大工の敬一(庄崎隆志)は昔の恋人の早苗(今井絵理子)との苦い思い出から逃れるように、ろうあ運動から離れていたが、障害者への資格制限などの差別撤廃運動を盛り上げるため、二十数年前に途中でストップしていた手づくり映画の制作の再開に弱った身体を押して参加することに…。



その映画のオーディションに応募して主演に選ばれる吾朗(福嶋一生)だが、私生活は不安定な様子…?結婚に踏み切れない吾朗に苛立つ恋人の、ろう学校の教員のさやか(津田絵理奈)と、その妹で薬剤師国家試験に挑戦中の尚美(貴田みどり)は、周囲に支えられながら、新しい人生を切り開こうとしている…。

実際に映画づくりが始まると、関係者の苦勞が続いたが、支援の輪は広がり始める。しかし、敬一の体には病魔が迫り、撮影の進め方にも悩むばかり…。そうした壁を乗り越えながら、ラストシーンの撮影の日が訪れる……!

ふた組の恋人達をつなぐのは、
一本の手づくり映画に秘められた愛と哀しみの奇跡!

かいせつ

聴覚障害者の人権を守ってきた全日本ろうあ連盟が創立60周年を記念して初の映画製作に取り組む。耳の聞こえない生い立ちの中で同じ障害の次代を支える学習塾や映像教材を推進する早瀬憲太郎が劇映画として企画したオリジナル脚本を、漫画「どんぐりの家」などで聴覚障害児の苦闘を描いた山本おさむの全面協力で磨き上げ、初監督に挑戦している。

撮影には映画作りのベテランが結集。ロケには手話通訳者が同行し現場を支え、「ヨーイ、スタート!」に白い旗、「カット!」には赤い旗を振るなどの創意工夫で、聞こえない監督やキャストと聞こえるスタッフやキャストとの意思疎通を図りながら、熱い思いを実現させている。

幾つかの世代にわたる登場人物の手話表現に関しては「日本手話研究所」が監修し、専門家や先輩諸氏のアドバイスを生かしながら、撮影が進められた。



一組目の恋人には、ろう演劇界のリーダーとして全国的な公演活動で活躍する庄崎隆志。その相手には08年夏に再結成で話題のSPEEDの今井絵理子。09年2月のエッセイ「ココロノウタ〜息子と歩んだ4年間、そしてこれから〜」で記すように、聴覚に障害を持って生まれてきた息子への母親としての思いを込めて、早瀬監督との偶然の出会いから出演を決意。

二組目のろう同士の恋人には、アメリカ留学などで若い才能を生かす新進気鋭の福嶋一生と、魅力的な容姿でモデル・俳優を始める津田絵理奈。その妹役で、早瀬監督の夫人が原型の、ろう者初の薬剤師に挑戦する青春像を演ずるのは現役大学生の貴田みどり。ろうあ連盟事務局長にはろう演劇界のベテランの井崎哲也。

彼らを温かく見守る工務店の先代社長を大和田伸也が熱演。物語には、大久保鷹、石井めぐみ、山口果林、そして手話が取り持つ縁で友情出演する西村知美と林家正蔵が登場して爽やかな彩りを添えている。

【2009年/1時間43分/日本語字幕入り】

- | | | | |
|--------|-------|---------|------|
| 脚本・監督 | 早瀬憲太郎 | プロデューサー | 安藤豊喜 |
| アドバイザー | 山本おさむ | 制作担当 | 佐藤武光 |
| 宣伝総務 | 中橋真紀人 | 制作担当 | 新井英夫 |
| 制作担当 | 佐々木文夫 | 監修 | 石渡均 |
| 制作担当 | 山本保博 | 音楽 | 奥村誠 |
| 監修 | 山本保博 | 美術 | 瀬合満 |
| 監修 | 山本保博 | 録音 | 池田大威 |
| 監修 | 山本保博 | 照明 | 沢渡一樹 |
| 監修 | 山本保博 | 撮影 | 石渡均 |

- | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------------|------------|-------|------|------|-------|-------|------|--------------|------|
| 大和田伸也 | 山口果林 | 林家正蔵(友情出演) | 西村知美(友情出演) | 石井めぐみ | 大久保鷹 | 井崎哲也 | 貴田みどり | 津田絵理奈 | 福嶋一生 | 今井絵理子(SPEED) | 庄崎隆志 |
|-------|------|------------|------------|-------|------|------|-------|-------|------|--------------|------|



ゆずり葉の木とは…
ユズリハ科の常緑高木。葉は長楕円形でツヤがあり、裏面は白緑色で、柄は赤く、枝先に集まって互生する。若い葉が育ってから古い葉が落ちることにちなみ、“己の代を次の代にゆずる親心”を表す繁栄の象徴とされている。“新旧相ゆずる”という縁起を祝って新年の飾り物にも使われている。



映画の原作が書籍となっております!!
小説『ゆずり葉』発行:汐文社 定価¥1,400+税
初心者に役立つ手話の入門書
『おぼえよう みんなの手話』発行:国際放映 定価¥2,000+税



◆上映日程・会場など映画に関するお問い合わせ (財)全日本ろうあ連盟
〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階 <http://www.jfd.or.jp/movie>
Tel.03-3268-8847 Fax.03-3267-3445 E-mail:yuzuriha@jfd.or.jp

2010 **5月29日** **土** **前売券発売中** 大人 **1,200円** 高校生以下 **800円**
《当日券 大人1,500円・高校生以下1,000円》

第1回 午前 **10:30** ~ 第2回 午後 **14:00** ~
京都子ども文化会館 副音声が付いています。

主催 『ゆずり葉』京都府上映推進委員会 FAX 075 (841) 8433 TEL 075 (432) 7705
後援 京都府・京都市・京都府市長会・京都府町村会・社会福祉法人京都府社会福祉協議会・社会福祉法人京都市社会福祉協議会・財団法人京都新聞社会福祉事業団・株式会社京都放送 京都高工会議所・京都府商工団体連合会・京都府身体障害者団体連合会・社団法人京都市身体障害者団体連合会・社会福祉法人全国手話研修センター・社会福祉法人京都聴覚障害者福祉協会・株式会社京都新聞社・朝日新聞京都総局・株式会社日本経済新聞社京都支社・株式会社京都リビンク新聞社・NHK京都放送局・株式会社エフエム京都・財団法人京都文化交流コンベンションビューロー・社団法人京都市観光協会・京都府PTA協議会・京都市PTA連絡協議会(予定)
協力 京都手話通訳問題研究会・京都府手話サークル連絡会(依頼予定)

